

臨床心理学コース

保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働等の多様な領域において、臨床心理学をはじめとする心理学の知識や諸技法を活用し、健康で豊かな社会の創造に貢献できる高度専門職業人を養成するコースです。

履修モデル

	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
修士論文	主指導教員 副指導教員決定	研究計画書に基づく指導		学位論文審査
高度専門科目 ・ 課題研究	課題研究I		課題研究II	
・ 臨床心理学に関する必修科目	臨床心理学特論A 臨床心理面接特論A 臨床心理査定演習A	臨床心理学特論B 臨床心理面接特論B 臨床心理査定演習B	臨床心理実習A 臨床心理実習B	
・ 専門科目	(A群)心理学特別演習(統計) (D群)精神医学特論 (E群)心理療法特論	(B群)発達心理学特論 (C群)家族心理学特論		
・ 研究科共通科目	社会文化創造論I	社会文化創造論II		
基礎専門科目	研究者としての基礎スキル データサイエンス			
基盤教育科目	地域創生・次世代形成・多文化共生論			

公認心理師の実習科目

コース科目

必修科目

選択必修科目

心理臨床の専門職として活躍するためには、理論や技法に関する講義のみならず、心理療法、カウンセリング、心理アセスメント等に関するさまざまな実習を通じて心理支援や心理検査の実際に触れることが不可欠です。

スーパーバイザーの丁寧な指導のもと、心理支援の基礎的な知識及び技能を獲得するとともに、支援計画の策定、チームアプローチの実践、多職種連携及び地域連携の重要性、公認心理師としての職業倫理及び法的義務を身に付けます。

●心理実践実習基礎

学内実習施設である心理教育相談室における担当

ケース実習、カンファレンス出席、及び学外施設の見学実習を行います。

●臨床心理実習A（心理実践実習A）

臨床心理士の実習科目も兼ねており、大きく学内実習施設における担当ケース実習と大学病院の精神科や私立精神科単科病院といった保健医療領域の学外実習施設における実習からなります。

●心理実践実習B

学内実習施設（心理教育相談室）における担当ケース実習を行うものであり、心理教育相談室で指導相談員とのチームにより、陪席あるいは並行面接における相談を担当します。

●心理実践実習C

児童相談所や児童養護施設、NPO法人といった福祉領域、さらには中学校等の教育領域の学外実習施設における担当ケース実習等といった内容から構成されます。

●心理実践実習D

「臨床心理実習A（心理実践実習A）」並びに「心理実践実習C」において実習を行った学外実習施設における担当ケース実習等の振り返りを通じて、心理支援に関する理解を深めるとともに、地域心理支援活動を通じて心の健康教育に関する知識及び技能を獲得することを目指します。